

## 土木と市民社会をつなぐ活動

CNCP 常務理事 土木学会連携部門長 田中 努

「土木学会連携部門」では、土木学会のシビルNPO推進小委員会と協働で、「土木と市民社会をつなぐ活動」をしています。

現在は、①「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の設立準備と、②土木学会の「土木コレクション」のボランティアガイドの呼びかけと組織化の2つに取り組んでいます。

### ■土木と市民社会をつなぐフォーラム

「土木と市民社会をつなぐフォーラム」については、CNCP 通信のVol.55、59、63に書きましたが、その後の進展をご紹介します。

現在は、冒頭の小委員会の他の土木学会委員会とCNCPの賛同者と共に、「土木と市民社会をつなぐフォーラム準備会」を設立して、活動をしています。

シビルNPO推進小委員会の外から加わった方たちは、皆、既に「土木と市民社会をつなぐ活動」を実践されている方たちですが、皆、それぞれ自分たちの活動を展開する先に、市民や子供が居たという状態なので、自ら「土木と市民社会をつなごう」と考えていた訳ではありません。そのため、この「フォーラムがめざす姿（つながった結果、どうなれば良いのか）」についての認識は、共有されていませんでした。

そこで、準備会を立ち上げた7月のキックオフは「ワールドカフェ方式」のWSで、①土木と市民社会の間に溝がある事例と②溝が無い事例をあげて、意見交換をしました。

その結果、次のような「フォーラムがめざす姿」にまとまりました。

◎市民が土木の全体を（事業も人も、良いところも悪いところも）概ね正しく理解し、様々なことに、市民が自分の意見を言えて、それらがある程度、インフラ整備（維持・更新）や防災・環境整備等の事業に反映されていく状態。

◎さらに、土木のファンがいて、楽しんだり、自ら土木に関係する仕事に就く人が居る状態。

「土木と市民社会をつなぐ」という活動は、わが国の土木界の全ての組織・人（国・自治体・大学・企業・NPO・市民組織・個人等々）と全ての国民をつなぐことを考えているので、このような広い言い方になります。

しかし、フォーラムの仲間になってくれる人に説明し共感してもらうために、もう少しブレイクダウン&具体化した説明も必要と考えています。例えば、

【イメージ】「土木」への誤解や「知らない」がなく、概ね正しくイメージされている。

【インフラ】インフラの見学会やメンテ活動に参加したり、インフラの計画や設計に関する市民の意思決定の場に参画している。

【防災】地域の避難計画やヒヤリマップの作成、災害復旧を通じた土木施設やまちづくりへの関心・理解が高まっている。

【コミュニケーション】土木界の技術者個人が、周囲の市民・子供に、土木事業の事実を分かり易く、また土木界で働く想いな

どを、伝わるように話し、市民の興味や疑問、誤解の実態を理解している。

【観光や趣味の対象】インフラツーリズムや、ダムマニアやマンホーラーなどの活動に、土木界の人が参画し、質的・量的に拡大している。

【土木教育】土木学会の長年の働きかけで、学習指導要領に「防災」が加わり、教科書に土木の関わりが記述されるようになったが、これを機に、記述範囲が拡大し、子供たちの土木に対する認識が変わってきている。

【土木界への就労】大学に「土木工学科」が復活しなくても良いが、「土木工学」を学ぶ学生が増え、土木界や関連する仕事に就こうとする若者が増えている。

「フォーラム」では、こんな社会をめざそうと考えています。次のステップでは、「それでは、フォーラムでは何をするのが良いか」を整理すること、その次はそれを実行することです。

CNCP に参画されている皆さま、一緒に活動しませんか？

## ■「土木コレクション」のボランティアガイド

「土木コレクション」については、CNCP 通信の Vol.60 に書きました。

来週の 11/14 (木) ~17 (日) の 8~21 時に、新宿駅西口広場イベントコーナーで開催されます。昨年まで、広場を東京都の建設局と半々で使用しましたが、今年は、全域、土木学会の「土木コレクション」です。したがって、「土木」の分かる説明を必要とし、CNCP に協力を依頼されました。

CNCP では、先の CNCP 通信 Vol.60 とメールで協力を呼びかけましたが、残念ながらどなたからも応募や問い合わせが

ありませんでした。そこで、個人的な伝を使って、JR 東と首都高と都立大の OB 会と前職の会社と土木学会の委員会の仲間が少し、協力してくれることになりました。

「土木と市民社会をつなぐ」は、土木界にとっても市民にとっても重要な活動だと思います。そして、労働人口が減って世界一の高齢社会になった今、「土木と市民社会をつなぐ活動」を現役に期待して見守るのではなく、土木関係の OB・OG が、自ら可能な範囲で支援をすべきではないでしょうか。しかし、暇なシニアでも出来ることは限られています。本業を持つ人は割ける時間が限られています。だから、「みんなで・寄って集って・少しずつ」です。

例えば、この「土木コレクション」。朝 8 時から夜 9 時まで 4 日間もあります。とても 1 人では無理ですが、1 人が 3 時間だけなら出来ますよね。17 人集まれば OK です。地域で活動している多くの NPO の仕事も似ていると思います。

The poster features a large, stylized black and white graphic of a person walking, set against a yellow background with faint architectural drawings. Text on the poster includes: 'CIVIL ENGINEERING EXHIBITION', 'TOKYO DOBOKU FROM 1964 TO', '土木コレクション2019', '2019.11.14[木]ー17[日] 開催決定', and '新宿駅西口広場イベントコーナー (JR新宿駅西口)'. It also mentions '過去から未来。新しいトウキョウへ。' and 'トウキョウを躍動させる高速道路や鉄道等の貴重な「建設映像」や「図面」などを一般公開致します。'.